

経済学研究科

◎経済学研究科経済学専攻博士前期課程のナンバリング及びカリキュラムマップ

科目ナンバリング	科目名	経済学に関する幅広く視野、基本的な知識及び思考力を有すること	経済学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること	経済学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること
EC100-01-5C-3	特別演習	◎		
EC100-02-5C-3	社会科学特論	◎		
EC100-03-5C-3	経済史概説特論	◎		
EC100-04-5C-3	英語プレゼンテーション			
EC100-05-5C-3	情報リテラシー特論			
EC110-01-5E-3	ミクロ経済学特論Ⅰ	◎		
EC110-02-5E-3	ミクロ経済学特論Ⅱ	◎		
EC110-03-5E-3	マクロ経済学特論Ⅰ	◎		
EC110-04-5E-3	マクロ経済学特論Ⅱ	◎		
EC110-05-5E-3	経済原論特論Ⅰ	◎		
EC110-06-5E-3	経済原論特論Ⅱ	◎		
EC110-07-5E-3	社会経済学特論Ⅰ	◎		
EC110-08-5E-3	社会経済学特論Ⅱ	◎		
EC110-09-5E-3	金融論特論Ⅰ	◎		
EC110-10-5E-3	金融論特論Ⅱ	◎		
EC110-11-5E-3	産業組織論特論Ⅰ	◎		
EC110-12-5E-3	産業組織論特論Ⅱ	◎		
EC110-13-5E-3	公共経済論特論Ⅰ	◎		
EC110-14-5E-3	公共経済論特論Ⅱ	◎		
EC110-15-5E-3	経済モデル・シミュレーション特論Ⅰ	◎		
EC110-16-5E-3	経済モデル・シミュレーション特論Ⅱ	◎		
EC110-17-5E-3	経済倫理学特論Ⅰ	◎		
EC110-18-5E-3	経済倫理学特論Ⅱ	◎		
EC110-19-5E-3	経済統計学特論Ⅰ	◎		
EC110-20-5E-3	経済統計学特論Ⅱ	◎		
EC120-01-5E-3	東北経済論特論A-I		◎	
EC120-02-5E-3	東北経済論特論A-II		◎	
EC120-03-5E-3	東北経済論特論B-I		◎	
EC120-04-5E-3	東北経済論特論B-II		◎	
EC120-05-5E-3	日本経済論特論Ⅰ		◎	
EC120-06-5E-3	日本経済論特論Ⅱ		◎	
EC120-07-5E-3	世界経済論特論Ⅰ		◎	
EC120-08-5E-3	世界経済論特論Ⅱ		◎	
EC120-09-5E-3	国際経済論特論Ⅰ		◎	
EC120-10-5E-3	国際経済論特論Ⅱ		◎	
EC120-11-5E-3	国際金融論特論Ⅰ		◎	
EC120-12-5E-3	国際金融論特論Ⅱ		◎	
EC120-13-5E-3	都市経済学特論Ⅰ		◎	
EC120-14-5E-3	都市経済学特論Ⅱ		◎	
EC120-15-5E-3	経済発展論特論Ⅰ		◎	
EC120-16-5E-3	経済発展論特論Ⅱ		◎	
EC120-17-5E-3	農業経済論特論Ⅰ		◎	

科目ナンバリング	科目名	経済学に関する幅広く視野、基本的な知識及び思考力を有すること	経済学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること	経済学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること
EC120-18-5E-3	農業経済論特論Ⅱ		○	
EC120-19-5E-3	情報経済論特論Ⅰ		○	
EC120-20-5E-3	情報経済論特論Ⅱ		○	
EC120-21-5E-3	中小企業論特論Ⅰ		○	
EC120-22-5E-3	中小企業論特論Ⅱ		○	
EC120-23-5E-3	財政学特論 A - Ⅰ		○	
EC120-24-5E-3	財政学特論 A - Ⅱ		○	
EC120-25-5E-3	財政学特論 B - Ⅰ		○	
EC120-26-5E-3	財政学特論 B - Ⅱ		○	
EC120-27-5E-3	経済政策論特論Ⅰ		○	
EC120-28-5E-3	経済政策論特論Ⅱ		○	
EC120-29-5E-3	社会政策論特論Ⅰ		○	
EC120-30-5E-3	社会政策論特論Ⅱ		○	
EC120-31-5E-3	社会保障論特論Ⅰ		○	
EC120-32-5E-3	社会保障論特論Ⅱ		○	
EC120-33-5E-3	社会福祉論特論Ⅰ		○	
EC120-34-5E-3	社会福祉論特論Ⅱ		○	
EC120-35-5E-3	加齢経済論特論Ⅰ		○	
EC120-36-5E-3	加齢経済論特論Ⅱ		○	
EC120-37-5E-3	環境経済論特論Ⅰ		○	
EC120-38-5E-3	環境経済論特論Ⅱ		○	
EC120-39-5E-3	経済地理学特論Ⅰ		○	
EC120-40-5E-3	経済地理学特論Ⅱ		○	
EC120-41-5E-3	地域社会論特論Ⅰ		○	
EC120-42-5E-3	地域社会論特論Ⅱ		○	
EC120-43-5E-3	現代社会論特論Ⅰ		○	
EC120-44-5E-3	現代社会論特論Ⅱ		○	
EC130-01-5E-3	経済史特論 A - Ⅰ		○	
EC130-02-5E-3	経済史特論 A - Ⅱ		○	
EC130-03-5E-3	経済史特論 B - Ⅰ		○	
EC130-04-5E-3	経済史特論 B - Ⅱ		○	
EC130-05-5E-3	経済学史特論 A - Ⅰ		○	
EC130-06-5E-3	経済学史特論 A - Ⅱ		○	
EC130-07-5E-3	経済学史特論 B - Ⅰ		○	
EC130-08-5E-3	経済学史特論 B - Ⅱ		○	
EC140-01-5E-3	研究科特論		○	
EC150-01-5C-3	ミクロ経済学演習			○
EC150-02-5C-3	マクロ経済学演習			○
EC150-03-5C-3	経済原論演習			○
EC150-04-5C-3	社会経済論演習			○
EC150-05-5C-3	金融論演習			○
EC150-06-5C-3	産業組織論演習			○
EC150-07-5C-3	公共経済論演習			○

科目ナンバリング	科目名	経済学に関する幅広く視野、基本的な知識及び思考力を有すること	経済学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること	経済学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること
EC150-08-5C-3	経済モデル・シミュレーション演習			◎
EC150-09-5C-3	経済倫理学演習			◎
EC150-10-5C-3	経済統計学演習			◎
EC160-01-5C-3	東北経済論演習 A			◎
EC160-02-5C-3	東北経済論演習 B			◎
EC160-03-5C-3	日本経済論演習			◎
EC160-04-5C-3	世界経済論演習			◎
EC160-05-5C-3	国際経済論演習			◎
EC160-06-5C-3	国際金融論演習			◎
EC160-07-5C-3	都市経済学演習			◎
EC160-08-5C-3	経済発展論演習			◎
EC160-09-5C-3	農業経済論演習			◎
EC160-10-5C-3	情報経済論演習			◎
EC160-11-5C-3	中小企業論演習			◎
EC160-12-5C-3	財政学演習 A			◎
EC160-13-5C-3	財政学演習 B			◎
EC160-14-5C-3	経済政策論演習			◎
EC160-15-5C-3	社会政策論演習			◎
EC160-16-5C-3	社会保障論演習			◎
EC160-17-5C-3	社会福祉論演習			◎
EC160-18-5C-3	加齢経済論演習			◎
EC160-19-5C-3	環境経済論演習			◎
EC160-20-5C-3	経済地理学演習			◎
EC160-21-5C-3	地域社会論演習			◎
EC160-22-5C-3	現代社会論演習			◎
EC170-01-5C-3	経済史演習 A			◎
EC170-02-5C-3	経済史演習 B			◎
EC170-03-5C-3	経済学史演習 A			◎
EC170-04-5C-3	経済学史演習 B			◎
EC180-01-6R-3	研究科論文指導			

◎経済学研究科博士課程後期課程

科目ナンバリング	科目名	経済学に関する幅広く視野、基本的な知識及び思考力を有すること	経済学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること	経済学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること
EC200-01-7R-3	経済学演習 A			
EC200-02-8R-3	経済学演習 B			
EC200-03-9R-3	論文指導			

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

経済学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること	経済学研究科に関して学修成果を示すことができる。			
	理論に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	政策に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	歴史に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	数量分析手法に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。
				○
	○			
				○
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○		
		○	○	
		○	○	
		○	○	
		○	○	
○				

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

経済学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること	経済学研究科に関して学修成果を示すことができる。			
	理論に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	政策に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	歴史に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。	数量分析手法に関するカリキュラムを通して、大学・研究所の教員や研究スタッフを養成する。
○				
○				
○				

◎経済学研究科経済学専攻博士前期課程授業科目及び履修単位

原則としてⅠ前期 Ⅱ後期 開講

授 業 科 目	担 当 者 名	単 位
研究科講義		
研究科基礎		
特別演習	アレイ ウィルソン	2
社会科学特論（前期）	（本年度休講）	
社会科学特論（後期）	アレイ ウィルソン	2
経済史概説特論	佐藤 純	2
英語プレゼンテーション	谷 祐可子	2
情報リテラシー特論	篠崎 剛	2
経済理論		
ミクロ経済学特論Ⅰ	アレイ ウィルソン	2
ミクロ経済学特論Ⅱ	アレイ ウィルソン	2
マクロ経済学特論Ⅰ	舟島 義人	2
マクロ経済学特論Ⅱ	舟島 義人	2
経済原論特論Ⅰ	（本年度休講）	
経済原論特論Ⅱ	（本年度休講）	
社会経済学特論Ⅰ	泉 正 樹	2
社会経済学特論Ⅱ	泉 正 樹	2
金融論特論Ⅰ	松前 龍宜	2
金融論特論Ⅱ	松前 龍宜	2
産業組織論特論Ⅰ	稲見 裕介	2
産業組織論特論Ⅱ	稲見 裕介	2
公共経済論特論Ⅰ	（本年度休講）	
公共経済論特論Ⅱ	（本年度休講）	
経済モデル・シミュレーション特論Ⅰ	板 明 果	
経済モデル・シミュレーション特論Ⅱ	板 明 果	
経済倫理学特論Ⅰ	（本年度休講）	
経済倫理学特論Ⅱ	（本年度休講）	
経済統計学特論Ⅰ	前田 修也	2
経済統計学特論Ⅱ	前田 修也	2
応用経済		
東北経済論特論 A - Ⅰ	千葉 昭彦	2
東北経済論特論 A - Ⅱ	千葉 昭彦	2
東北経済論特論 B - Ⅰ	（本年度休講）	
東北経済論特論 B - Ⅱ	（本年度休講）	
日本経済論特論Ⅰ	田野 穂	2
日本経済論特論Ⅱ	田野 穂	2
世界経済論特論Ⅰ	（本年度休講）	
世界経済論特論Ⅱ	（本年度休講）	
国際経済論特論Ⅰ	倉田 洋	2
国際経済論特論Ⅱ	倉田 洋	2
国際金融論特論Ⅰ	伊鹿倉 正司	2
国際金融論特論Ⅱ	伊鹿倉 正司	2
都市経済学特論Ⅰ	吉田 惇	
都市経済学特論Ⅱ	吉田 惇	
経済発展論特論Ⅰ	篠崎 剛	2
経済発展論特論Ⅱ	篠崎 剛	2
農業経済論特論Ⅰ	（本年度休講）	
農業経済論特論Ⅱ	（本年度休講）	

授 業 科 目		担 当 者 名	単 位
	情報経済論特論Ⅰ	小 林 陽 介	2
	情報経済論特論Ⅱ	小 林 陽 介	2
	中小企業論特論Ⅰ	(本 年 度 休 講)	
	中小企業論特論Ⅱ	(本 年 度 休 講)	
	財政学特論 A - Ⅰ	谷 達 彦	2
	財政学特論 A - Ⅱ	谷 達 彦	2
	財政学特論 B - Ⅰ	佐 藤 滋	2
	財政学特論 B - Ⅱ	佐 藤 滋	2
	経済政策論特論Ⅰ	伊 藤 健 宏	2
	経済政策論特論Ⅱ	伊 藤 健 宏	2
	社会政策論特論Ⅰ	黒 坂 愛 衣	2
	社会政策論特論Ⅱ	黒 坂 愛 衣	2
	社会保障論特論Ⅰ	熊 沢 由 美	2
	社会保障論特論Ⅱ	熊 沢 由 美	2
	社会福祉論特論Ⅰ	(本 年 度 休 講)	
	社会福祉論特論Ⅱ	(本 年 度 休 講)	
	加齢経済論特論Ⅰ	佐 藤 康 仁	2
	加齢経済論特論Ⅱ	佐 藤 康 仁	2
	環境経済論特論Ⅰ	谷 祐 可 子	2
	環境経済論特論Ⅱ	谷 祐 可 子	2
	経済地理学特論Ⅰ	千 葉 昭 彦	2
	経済地理学特論Ⅱ	千 葉 昭 彦	2
	地域社会論特論Ⅰ	齊 藤 康 則	2
	地域社会論特論Ⅱ	齊 藤 康 則	2
	現代社会論特論Ⅰ	郭 基 煥	2
	現代社会論特論Ⅱ	郭 基 煥	2
歴史			
	経済史特論 A - Ⅰ	佐 藤 純	2
	経済史特論 A - Ⅱ	佐 藤 純	2
	経済史特論 B - Ⅰ	白 鳥 圭 志	2
	経済史特論 B - Ⅱ	白 鳥 圭 志	2
	経済学史特論 A - Ⅰ	(本 年 度 休 講)	
	経済学史特論 A - Ⅱ	(本 年 度 休 講)	
	経済学史特論 B - Ⅰ	(本 年 度 休 講)	
	経済学史特論 B - Ⅱ	(本 年 度 休 講)	
共通講義科目			
	研究科特論	(本年度休講)	
研 究 科 演 習			
経済理論			
	ミクロ経済学演習	アレイ ウィルソン	4
	マクロ経済学演習	舟 島 義 人	4
	経済原論演習	(本 年 度 休 講)	
	社会経済論演習	泉 正 樹	4
	金融論演習	松 前 龍 宜	4
	産業組織論演習	稲 見 裕 介	4
	公共経済論演習	(本 年 度 休 講)	
	経済モデル・シミュレーション演習	板 明 果	
	経済倫理学演習	(本 年 度 休 講)	
	経済統計学演習	前 田 修 也	4

授 業 科 目	担 当 者 名	単 位
応用経済		
東北経済論演習 A	(本年度休講)	
東北経済論演習 B	(本年度休講)	
日本経済論演習	田 野 穂	4
世界経済論演習	(本年度休講)	
国際経済論演習	倉 田 洋	4
国際金融論演習	伊鹿倉 正 司	4
都市経済学演習	吉 田 惇	
経済発展論演習	篠 崎 剛	4
農業経済論演習	(本年度休講)	
情報経済論演習	小 林 陽 介	4
中小企業論演習	(本年度休講)	
財政学演習 A	谷 達 彦	4
財政学演習 B	佐 藤 滋	4
経済政策論演習	伊 藤 健 宏	
社会政策論演習	黒 坂 愛 衣	4
社会保障論演習	熊 沢 由 美	4
社会福祉論演習	(本年度休講)	
加齢経済論演習	佐 藤 康 仁	4
環境経済論演習	谷 祐 可 子	4
経済地理学演習	千 葉 昭 彦	4
地域社会論演習	齊 藤 康 則	4
現代社会論演習	郭 基 煥	4
歴史		
経済史演習 A	佐 藤 純	4
経済史演習 B	白 鳥 圭 志	4
経済学史演習 A	(本年度休講)	
経済学史演習 B	(本年度休講)	
研究科論文指導	(本年度休講)	

履修方法

2年以上在学して、次により授業科目について32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

- (1) 研究科基礎科目の中から2科目4単位以上を修得しなければならない。ただし、課程修了要件として算入できる単位数は4単位を限度とする。
- (2) 指導教員による研究科講義科目2科目4単位（経済理論、応用経済ないし歴史の中から選択）と研究科演習4単位および研究科論文指導4単位合計12単位以上の修得を必ず含むものとする。
- (3) 指導教員及び当該授業科目の担当教員の承認を得て、他研究科及び専攻の授業科目の中から選択履修することができるものとし、10単位を限度に課程修了に必要な単位として認める。

◎経済学研究科経済学専攻博士後期課程授業科目及び履修単位

授 業 科 目	担 当 者 名	単 位
経済学演習 A	(本年度休講)	
経済学演習 B	(本年度休講)	
論文指導	(本年度休講)	

履修方法

3年以上在学し、授業科目について12単位（経済学特別演習8単位、論文指導4単位）以上を修得し、指導教員の指導のもとに必要な研究指導をうけた上、博士論文を提出しその審査及び最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げたと認められる場合には、在学期間を短縮することができる。

経済学研究科における研究指導計画と論文審査基準・体制

学位取得（入学から学位授与までの教育プロセス：博士課程前期・後期課程共通）

1. 研究指導計画（学位授与までのプロセス）

経済学研究科の博士課程における入学から学位授与までの教育プロセスは、前期課程と後期課程のいずれにおいても、入学後の新入生オリエンテーションでガイダンスを受けることから始まる。これに引き続いて、前期課程の大学院生は、主指導教員・副指導教員から履修科目や履修内容についての指導を受ける。これと同時に、それぞれの研究テーマに基づいて研究計画を作成・提出し、研究科委員会の承認を受ける。

前期課程の修士論文については、指導教員の演習を1年間、研究科論文指導を1年間履修することで、研究計画を具体化し、修士論文を完成させる仕組みになっている。修士論文の作成のスケジュールは上記の研究計画の作成・提出（前期課程1年次）から始まり、前期課程2年次の4月の修士論文の題目提出、9月または10月の修士論文の中間報告、1月の修士論文の提出、2月の修士論文の審査で完了する。なお、修士論文の中間報告は、学生に義務化され、指導教員を含む本研究科の全教員から指導と助言を受ける。

後期課程では、演習科目の履修が中心となっており、複数指導教員による研究指導と博士論文の作成に重点がおかれている。「研究計画書」の提出から始まり、原則として3年間で博士論文を完成させることになっている。本研究科では、これを実質化するために、学内での研究報告に加えて、学生がその研究成果を国内外の学会で報告することを奨励している。博士論文の中間報告は、3年次の9月または10月に予定され、学生に義務化されている。この報告会において指導教員を含む本研究科の全教員から指導と助言を受ける。承認された博士學位論文は本学学術情報リポジトリに公表することが義務づけられている。

2. 学位論文の審査基準

[博士課程前期課程]

経済学研究科の学位授与の方針により、博士課程前期課程では以下の4基準により、論文審査と口述試験による最終審査をもって、修士の学位審査を行う。

1. 経済・社会の諸問題に関する多角的な視点及び基本的な知識を有すること。
2. 経済・社会の事象や問題について理論的、実証的又は歴史的に分析すること。
3. 経済・社会の諸問題に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有し、課題解決策を提案できること。
4. 経済・社会に関する諸問題に、経済学の知識を活用して学術研究を遂行し、研究成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること。

これらの審査基準に関しては、入学式直後に実施される経済学研究科ガイダンスにおいて配布資料をもとに研究科長より説明がなされる。さらに、1年次から2年次にかけて論文題目を決定する際にも、指導教員からあらためて審査基準についての指導がなされ、基準を満たしていない学位論文は不合格と判定されることも周知される。

[博士課程後期課程]

経済学研究科の学位授与の方針により、博士課程後期課程では以下の4基準により、論文審査と口述試験による最終審査をもって、博士の学位審査を行う。

1. 経済・社会の諸問題に関する多角的な視点、高度な知識及び思考力を有すること。
2. 経済・社会の事象や問題について理論的、実証的又は歴史的に高度な分析能力を有すること。
3. 経済・社会の諸問題に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有し、課題解決策を提案できること。
4. 経済・社会に関する諸問題に、経済学の知識を活用して主体的に学術研究を遂行し、研究成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること。

3. 審査体制

本研究科では、学位論文審査に際して、論文審査委員（修士論文の審査では、主査1名、副査1名。博士論文の審査では、主査1名、副査2名以上）が選任され、論文審査と最終試験（口述試験）が実施される。審査委員は、その審査結果を研究科委員会に報告し、研究科委員会での審議によって合否が決定されることになる。研究科長はこの結果を学長に報告し、学長は大学院委員会で審議の後、学位（修士又は博士）を授与する。